

令和4年度学校評価アンケートについて

1 目的

学校経営方針や教育活動全般に対する意識やニーズ等を把握し、学校運営の改善方向を探るとともに、その成果を把握し、鹿児島南高等学校の教育活動を更に充実・発展させる目的でアンケート調査を実施する。

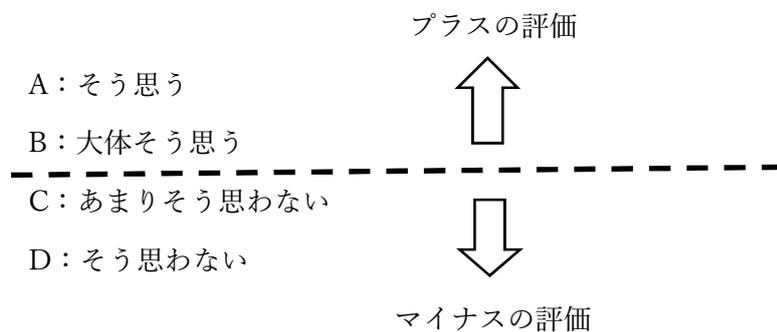
2 実施日

令和5年1月10日(火)～20日(金)

3 回収サンプル数

- (1) 教職員： 55 人
- (2) 生徒： 438 人
- (3) 保護者： 683 人

4 評価基準



1 教職員のアンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価の観点（具体的な評価項目）	プラスの評価	A	B	C	D	前年度プラスの評価
			そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	
1	担当する校務を工夫・改善し、遂行できた。	93%	18	33	4	0	96%
			33%	60%	7%	0%	
2	SHRや終礼など機会あるごとに、生きていることや学ぶことの意義など人生を豊かにする話を生徒にしている。	89%	17	32	6	0	94%
			31%	58%	11%	0%	
3	学習と部活動が両立できるように学習時間の確保を配慮し、的確な学習指導を行っている。	96%	20	33	2	0	91%
			36%	60%	4%	0%	
4	生徒に将来の目標を掲げさせ、その実現に向け努力させている。	96%	21	32	2	0	96%
			38%	58%	4%	0%	
5	保護者や生徒に、進路に関する必要な情報をきちんと提供している。	93%	14	37	4	0	91%
			25%	67%	7%	0%	
6	分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本をしっかりと定着させる指導を行っている。	100%	29	25	0	0	99%
			54%	46%	0%	0%	
7	課題の量は適切であり、きちんと提出させている。	94%	25	26	2	1	93%
			46%	48%	4%	2%	
8	諸機会を通じて生徒の情報等を収集し、指導に生かしている。	98%	25	29	1	0	96%
			45%	53%	2%	0%	
9	自らの教科指導力を高めるための教材研究や指導方法改善に取り組んでいる。	98%	23	31	1	0	97%
			42%	56%	2%	0%	
10	頭髪や服装、挨拶などの礼儀指導や清掃指導に日々取り組んでいる。	100%	29	26	0	0	99%
			53%	47%	0%	0%	
11	いじめや不登校等について十分注意を払い、的確に対応している。	100%	30	25	0	0	100%
			55%	45%	0%	0%	
12	休み時間や放課後など、生徒がいつでも気軽に悩みが相談できるような関係づくりに努めている。	98%	29	25	1	0	96%
			53%	45%	2%	0%	
13	自分の教師力を高めるための自己啓発に努めている。	100%	22	33	0	0	94%
			40%	60%	0%	0%	

(2) 結果分析と今後の対策

ア 全体的にはプラスの評価が9割で高い。しかし、項目2の評価については、昨年度と比べ低い。担任・副担任が人生の先輩として、生き方について語る時間としてSHR・LHRや終礼等の時間があるが、コロナ等の出席確認やその他の連絡事項・調査等が多く、十分に語り込めていない状況が考えられる。進路指導や生徒指導の便り等を活用しながら、時期に応じた語りについて共通理解を図り対応したい。

イ 項目3、13の評価が昨年度よりも高くなっている。昨年度の反省から文武両道について、課題の出し方や部活動の時間配分などで改善をし、その解決に取り組んでいることが分かる。また、教師自身のスキルを高めるための努力をすることができていた点については、今後も継続していくよう努めたい。

ウ 項目1の評価については、昨年度よりも若干ではあるが減少した。ICT 機器の活用や任務の分担などのさらなる工夫が必要がある。

2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 全体調査結果

I (学校や授業に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	83%	135 31%	227 52%	69 16%	7 2%	86%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	89%	165 38%	224 51%	43 10%	6 1%	92%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	88%	189 43%	195 45%	48 11%	5 1%	89%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	90%	186 43%	206 47%	39 9%	6 1%	91%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	84%	130 30%	236 54%	54 12%	17 4%	85%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	79%	120 27%	224 51%	70 16%	23 5%	78%
7	校則や学校のきまりは適切である。	48%	45 10%	164 38%	148 34%	80 18%	57%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	91%	146 33%	250 57%	34 8%	7 2%	90%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	86%	100 23%	273 63%	50 11%	13 3%	88%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	81%	111 25%	241 55%	65 15%	19 4%	79%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	90%	127 29%	264 61%	35 8%	10 2%	90%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	92%	192 44%	209 48%	28 6%	7 2%	92%
13	校内の施設や環境が整備されている。	97%	259 59%	163 37%	11 3%	3 1%	96%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	74%	104 24%	216 50%	89 20%	26 6%	76%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	94%	231 53%	174 40%	17 4%	11 3%	95%

II (自分自身に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	プラスの評価
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	87%	173 40%	203 47%	47 11%	11 3%	88%
2	授業は予習を十分にして受けている。	54%	52 12%	182 42%	166 38%	34 8%	52%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	95%	179 41%	232 53%	23 5%	0 0%	92%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	87%	130 30%	246 57%	50 12%	8 2%	80%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	64%	78 18%	201 46%	133 31%	22 5%	60%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	94%	251 58%	155 36%	22 5%	6 1%	89%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	83%	167 39%	192 44%	41 9%	32 7%	81%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	82%	174 40%	182 42%	64 15%	14 3%	79%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	94%	222 51%	188 43%	18 4%	6 1%	95%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	99%	325 75%	103 24%	4 1%	2 0%	98%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	51%	91 21%	132 30%	146 34%	66 15%	52%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	94%	228 52%	182 42%	22 5%	3 1%	92%

(2) 学科別・学年別調査結果

I (学校や授業に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	78%	87%	87%	78%	83%	85%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	87%	90%	91%	78%	93%	93%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	84%	92%	88%	80%	91%	92%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	88%	91%	94%	91%	89%	89%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	83%	84%	85%	72%	85%	92%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	75%	82%	82%	71%	82%	82%
7	校則や学校のきまりは適切である。	42%	53%	53%	45%	50%	48%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	93%	88%	88%	90%	93%	89%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	85%	85%	90%	83%	84%	89%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	80%	81%	82%	79%	79%	84%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	88%	91%	91%	83%	91%	94%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	89%	95%	96%	90%	91%	95%
13	校内の施設や環境が整備されている。	96%	97%	99%	95%	96%	98%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	72%	75%	76%	70%	70%	79%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	91%	95%	97%	88%	93%	98%

II (自分自身に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	87%	87%	85%	85%	85%	89%
2	授業は予習を十分に受けている。	58%	57%	32%	46%	53%	60%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	93%	96%	97%	91%	93%	99%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	84%	87%	94%	81%	82%	94%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	67%	69%	46%	61%	54%	75%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	90%	97%	95%	90%	91%	98%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	82%	82%	89%	83%	82%	85%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	80%	82%	88%	68%	78%	96%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	92%	96%	97%	92%	95%	96%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	99%	100%	98%	97%	100%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	59%	47%	37%	50%	50%	54%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	94%	96%	91%	91%	96%	95%

(3) 結果分析と今後の対策

ア 全体

- (ア) 「校則や学校のきまり」についての評価が昨年度に引き続き、大きく減少している。昨今、校則の見直しについての報道が多くなり、校則の見直しが必要であるという考え方が強くなってきているためではないかと考えられる。まずは、生徒と職員が一緒になって、校則の重要性と指導のあり方、基準について考えていく必要がある。また、就職・入試担当者、マナー講演会等による啓発の工夫を行っていきたい。
- (イ) 「部活動と学習の両立」、「学習課題の量」については、今年度も低い評価であった。教職員の自己評価では適切であると考えているところから、生徒と教職員間のギャップが大きいことが分かる。来年度以降朝補習等の見直しがなされる中、効果的な学習の工夫について継続した検討が必要である。
- (ウ) 「定期考査等の対策」「宅習時間の確保」「課題や提出物」についての生徒達の評価が昨年度より高くなっており、生徒自身の取組への意識は改善されつつあるのかもしれない。今後とも生徒の自主的な学習を支援していきたい。
- (エ) 「ボランティア活動や地域行事」については、参加希望者も多数いたが、新型コロナの影響や部活動とのバランスが難しく参加がなかなかできない現状があると考えられる。これからも、多様な体験活動への積極的参加を呼びかけたい。
- (オ) 「授業の予習」の項目について、昨年度に引き続き低い評価であった。Classi等を活用して、予習に取り組む方法などを検討していきたい。

イ 学科別

- (ア) 昨年度と同様、商業・情報処理科の「進路指導」、「進路情報」に関する項目の評価が他学科に比べて高い。商業科が実施している進路講演会等のキャリア教育が影響していると考えられる。教育課程の違いや授業時数とのかねあいもあり一概にはいえないが、他学科についても引き続き検討する必要がある。
- (イ) 全体的に普通科がプラスの評価が低い項目が多い。ほかの学科に比べ、目標・目的が多岐に渡り、また、目標・目的が明確でない生徒もいることが要因として考えられる。早めに進路が明確化できるような取組が必要である。

ウ 学年別

- (ア) 進路に関する評価は全般的に3学年の評価が高い傾向にある。3学年になりようやく進路を考えるようになったためと考えられ、1・2学年においても早めに進路目標を持たせ、学習意欲につなげる必要がある。
- (イ) 例年のことではあるが、2学年の宅習時間に関する評価が低い傾向にある。部活動で中心になり時間配分が難しくなる時期ではあるが、学年団で連携をとり、個々の状況を共有しながら、実態に応じて学習意欲等を喚起する手立てを工夫する必要がある。
- (ウ) 「ボランティア活動や地域行事への参加」は全学年で低めだが、部活動等もあり時間が十分に確保できないためだと考えられるが、長期休業等を活用して有意義な活動を行うことができるよう情報提供をしていく必要がある。

3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう 思わない	D そう思わない	前年度 プラスの 評価
1	本校が掲げる「文武両道～活力にあふれ、自己実現に向けて邁進する学校」は、目指す学校像として適切である。	90%	233 34%	385 56%	59 9%	6 1%	93%
2	学校は基礎・基本をしっかりと定着させる授業や、分かる授業に心がけている。	86%	115 17%	468 69%	91 13%	5 1%	89%
3	学校は学習指導において、一人一人に応じた個別指導に力を入れている。	66%	88 13%	359 53%	217 32%	16 2%	71%
4	学校は学力向上のために、十分な取組を行っている。	83%	139 20%	427 63%	107 16%	8 1%	85%
5	学校は就職指導や進学指導にしっかり取り組んでいる。	88%	209 31%	386 57%	77 11%	7 1%	89%
6	学校は自宅学習を十分確保するために、適切な量の課題を出している。	78%	130 19%	406 59%	130 19%	18 3%	81%
7	学校は進路に関する十分な情報を生徒や保護者に提供している。	80%	160 23%	390 57%	118 17%	16 2%	82%
8	学校は生徒指導にしっかり取り組んでおり、生徒の頭髪、服装、挨拶が良い。	91%	309 46%	311 46%	49 7%	10 1%	95%
9	学校ではいじめ・不登校等に対して、的確な対応がなされている。	84%	106 16%	460 68%	97 14%	12 2%	88%
10	学校では教育相談等、日頃から生徒をよく理解する態勢が整っている。	81%	137 20%	411 61%	124 18%	7 1%	86%
11	学校では部活動と学習の両立ができるよう、部活動の時間に配慮がなされている。	73%	129 19%	366 54%	141 21%	41 6%	76%
12	学校は交通安全や通学マナーの指導に十分取り組んでいる。	90%	182 27%	433 63%	57 8%	10 1%	90%
13	学校は様々な学校行事に取り組み、高校生活の充実を図っている。	88%	177 26%	422 62%	78 11%	7 1%	91%
14	学校は生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	90%	176 26%	431 64%	64 9%	7 1%	94%
15	学校は様々な教育活動について、情報発信や広報に取り組んでいる。	90%	195 29%	420 61%	65 10%	4 1%	91%

(2) 結果分析と今後の対策

- ア 全体的には、昨年度よりも評価が下がった項目が5項目あった。「3 個別指導に力を入れている」という項目については、昨年度も最も低い評価であり、改善されていないのは残念である。来年度からは補習のあり方についても検討しているところである。その場合の指導のあり方について、各教科・学年で情報共有し、さらに工夫する必要がある。
- イ 「9 いじめ・不登校」と「10 教育相談」についての評価が昨年比で低下した。生徒の自己評価では、教員とのコミュニケーションの項目の評価は昨年度より上昇したことを踏まえ、対応について保護者への周知が十分でないと考えられる。周知方法の検討について取り組んでいく必要がある。
- ウ 「生徒の頭髪、服装、挨拶がよい」という項目が、昨年度と同様、最も高い評価を得た。しかし、一方では校則が厳しすぎるのではないかという意見も寄せられている。それらを精選し、検討していく必要がある。